

新年のごあいさつ

会長 中谷 清



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は農業会議設立70周年と

いう節目でありました。これを契機に自らの社会的使命を再確認し、大阪農業の振興に取り組んで参ります。

さて、国では、昨年6月施行の改正食料・農業・農村基本法に基づく基本計画策定が、大詰めを迎えようとしております。

3月までに府内の多くの市町村では、地域計画が策定されることとなりますが、その実現には、各地域の農地を託す担い手

の育成・確保が大きな課題であります。小規模な家族経営、定年帰農など基本法で謳われた多様な農業者への支援がますます重要となっております。

あわせて、生産・販売、食育などの現場で大きな役割を果たす女性農業者の代表・女性委員の活躍へも後押しを図っていくことも不可欠であります。

他方、府内では大規模な開発による農地転用案件が散見されており、優良農地のかい廃が進んでおり、生産基盤の更なる脆弱化が懸念されます。

今年、府内農業委員会ネットワーク組織で取り組む組織運

動改訂の年となります。こうした課題を重点事項に掲げ、関係機関・団体のご協力をいただきながら取り組んで参ります。

各農業委員会におかれましては、市町村長に対する農業政策の意見提出を通じた組織運動の推進や優良農地確保のための農業理解醸成への取り組みに引き続きご尽力をお願いいたします。

本年4月には大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの方が大阪に來られます。大阪府におかれましては、この機会に食の都・大阪を支える魅力ある農産物を、JAグループなどと連携して発信いただきますよう

お願いいたします。農業会議でも、引き続き、生産緑地の保全・活用の促進や防災協力農地登録制度の推進など、都市農業の多面的機能の理解促進に取り組んでまいります。

このような情勢を踏まえ、農業委員、推進委員の皆様方に置かれましては、地域の農地を守り、次世代につないでいくという役割を今一度思い返していただき、大阪農業の活性化に格別のご尽力をお願いいたします。結びに、皆様方にとりまして本年が希望に満ちた佳き年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

新春を迎えて

大阪府知事 吉村 洋文



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大阪府政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、

日頃から、地域の農地の保全と活用にご尽力いただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

昨年は、府内の各農村地域において、誰が中心的な担い手となつて、どのような営農をするのかなど、地域農業の将来像を描く地域計画の策定作業に取り組んでいただいたところです。

本年も引き続き、この地域計

画の実現に向け、担い手への農地の集積・集約化を図るとともに、農業経営の改善、新規就業や企業の農業参入による農地利用の最適化などの取り組みを

しっかりと進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をよろしく願います。

また、大阪府では、2050年カーボンニュートラルを目標に掲げており、都市近郊の立地を活かし、輸送距離の短い地場で生産された、安全で安心、そして新鮮な農産物を召し上がっていただくことが脱炭素社会の実現にも極めて重要なことであ

ると考え、大阪の都市農業の振興にさらに力を入れてまいります。

さて、いよいよこの4月、大阪・関西万博が開幕します。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下、期間中は約160の国々が大阪・夢洲に集結し、国内外から2800万人もの方の来場が予想され、大阪産(もん)を知っていただく絶好の機会となるものと考えております。

大阪府では、この万博のインパクトを最大限に活かし、大阪産(もん)や農空間の魅力を広

く発信するとともに、生産基盤の整備等、力強い大阪農業の実現に向けた取り組みをしっかりと進めてまいります。

引き続き、農業委員会、市町村、大阪府みどり公社、JAなどの関係機関の皆様と連携し、様々な取組みを進めてまいりますので、一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう祈念し、新年のあいさつといたします。